

内部評価の結果

【事業名】

響ホール・国際村交流センター共用部大規模改修事業

【評価結果】

計画どおり実施

国際村交流センターは、響ホールや生涯学習センター等からなる複合施設で、多くの市民に利用されている。

また、響ホールは北九州市で唯一の音楽専用ホールで、演奏家からも高い評価を得ており、市民に質の高い音楽芸術に触れる機会を提供している。

一方で、建築後30年以上を経過し、全館にわたり老朽化等による雨漏りなどが発生し、これに起因する天井パネルの落下も発生している。

また、ホール天井やエレベータは改正された建築基準法施行令に対して既存不適格の状況である。

本事業は、国際村交流センター全体の屋上と外壁の防水改修、共用設備の更新を行うとともに、響ホールの特定天井の改修、バリアフリー化等を内容とする大規模改修を実施するものである。

利用者の安全を確保し、施設を適切に維持していくためにも、早急に改修を実施したい。

なお、公共事業評価調整会議では、「リニューアル後の響ホールにおいて、魅力ある公演の開催に力を入れていただきたい」との意見があった。これについては、響ホールの優れた音響性能を活かし、指定管理者と共に、質が高く、魅力ある公演の誘致や企画に取り組んでまいりたい。

また、「改修時に施設内のサインなどをわかりやすく見直すこと」、「壁面からの漏水の原因を特定するよう努め、費用対効果を考慮した適切な対処を行うべき」との意見があった。これについては、ユーザー目線で使いやすい施設となるような見直しを行い、実施設計で詳細な現地調査を行う際に、漏水の原因を調査し、費用対効果が高い工法を採用したい。

「実施設計後の着工時期や施工スケジュールについては、他の文化ホール等の改修と時期が重ならないよう検討すべき」との意見については、実施設計で施工計画を策定する際に、北九州市の文化ホール全体で休館期間の調整や事業予算の平準化を考慮した事業計画を検討してまいりたい。